

女川原発の設計者がお話しします

# 女川原発の 再稼働に反対する 7つの理由

## 【講演会のご案内】

原発の輸出・再稼働を急ぐ安倍政権の下、東北電力が昨年12月27日、女川原発2号機の適合性審査を申請しました。しかし政府と電力会社が「世界最高水準」と持ち上げる新・規制基準は問題だらけ。重大事故時の防災・避難も困難です。女川原発再稼働中止を県民合意にしていきたいと思います。

㈱東芝の原子力部に勤務した渡辺敦雄氏は、福島第一原発事故の後、軽水炉原発の危険性について発言し講演活動等を行っています。渡辺氏から、女川原発の健全性や耐震性等の問題を学びたいと考え、有志で講演会を計画いたしました。

「原発ゼロ」を願う人も、「再稼働はやむをえないのではないか」と考えている人も、どうぞご参加ください。

〈呼びかけ人〉 草場 裕之 (自由法曹団宮城支部長、弁護士)  
篠原 弘典 (脱原発東北電力株主の会代表)  
鈴木 宏一 (みやぎアクション代表、弁護士)  
多々良 哲 (あいコープみやぎ専務理事)  
中嶋 廉 (原発問題住民運動宮城県連絡センター)  
小澤 かつ (子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ共同代表)

# 6.1日

14時開会(17時終了予定)

## 仙台弁護士会館 4階 大ホール

▶資料代(協力費も含めて) 1,000円

## 「深層防護」の立場から7つの理由

- 使用済み燃料の問題があること
- 発電システムに原子力は必須ではないこと
- 事故被害が膨大であること
- 女川原発はmark I改良型であり、原子炉格納容器に基本的な問題があること
- 「複合災害による原発震災」が生じること
- 活断層の問題
- 放射能の環境への放出の問題と避難指示に関する問題



講師

かつて東芝の原子力部に勤務し、女川原発、浜岡原発などの基本設計に携わった。専門は、原子力工学、危機管理学。

## 渡辺敦雄氏

### <渡辺敦雄氏のプロフィール>

1947年、山梨県・上野原市生まれ、東京大学工学部卒。1971年、㈱東芝に入社、原子力事業部で福島第1原発3・5号機、女川原発1号機、浜岡原発1・2・3号機の基本設計を担当。その後に環境技術部に。2005年、沼津高等専門学校(物質工学科)に着任、2009年から同校の教授に(2012年3月に退職)。専門は原子力工学、危機管理学。博士(工学)、技術士(衛生工学)。日本環境教育学会に所属。現在、山梨地方自治研究所理事。趣味、囲碁(5段)、ひよっこ踊り(郡山逢瀬ひよっこ愛好会所属)。

【連絡先】 原発問題住民運動宮城県連絡センター事務局 電話 022(234)1335(宮城高教組内)

講師へのご質問は、事前にお寄せ下さい(FAX 022-273-1767)